

## 「自律」 黒木中だより 第18号

令和6年3月19日



八女市立黒木中学校  
八女市黒木町北木屋60  
☎ 0943-42-0109  
編集責任者 山口 繁喜

『山路(やまみち)を登りながら、こう考えた。智(ち)に働けば角が立つ。情に棹(さお)させば流される。意地を通せば窮屈だ。とにかく人の世は住みにくい。』

夏目漱石「草枕」

意味：山道を登りながら考えた。理性ばかりでは他人と衝突し、情に流されれば足元をすくわれる。意地を通して窮屈で、全く人の世の中というのは住みにくいものだ。

ところで、「適当」「塩梅」はなんと読むでしょう。また、意味は？ 適当(てきとう)はうまくあてはまること、ほどよいこと、いいかげんであること。塩梅(あんばい)は味加減、ぐあい、ようす、程合いという意味です。それでは、“適当に塩梅しておけ”となると、どういう意味でしょうか。

100年前も今も、適当に、良い塩梅でやっていくのは難しいようです。でも、八女の人は古(いにしえ)よりうまく乗り越えてきていると思います。その根拠は、私が38年前八女に来て初めて出会った言葉「ようら！」につきると思います。

## 人権学習

1年生は「七つの立場」を課題に、動画に登場する人物がどの立場かを考え、自分の日頃の立ち位置を振り返りました。



そして、「いじめや差別をしてはいけない。でも、そのいじめや差別がいつまでも残っているのはなぜか」を考えました。2年生は「水平社設立」について学習しました。水平社宣言を起草するまでの西光万吉氏の軌跡に触れ、差別をなくすために大切なこと、今自分たちにできることを考えました。3年生は「ヒデさんの結婚」を教材として、結婚のとき周りの人たちの「世間の目が」などの発言の裏にある差別性に気づき、差別をなくしていくために自分はどのようにするかを見つめ直しました。



## 3年生の愛校作業

3月6日に卒業式を前にして、愛校作業として教室・廊下や窓を中心に掃除を行いました。「立つ鳥跡を濁さず(たつとりあとをにごさず)」ということわざのとおり、心を込めて丁寧に取り組んでいました。



## 卒業式

3月8日に第54回卒業証書授与式を挙  
行いたしました。卒業生答辞は さ  
さんが代表を務めました。「あまりにも幼  
く、決められたルールを破ってしまった」一年生。二年生で  
の「友だちの意外な一面や、本音を聞くことができた修学旅  
行」。最上級生としての「最後にはうれし涙を流した体育会」。  
「三年間一緒に頑張ろうと声を掛け合える友」への感謝。「一  
番の理解者だった家族」への感謝を伝え、最後に、在校生へ  
「受け継いできた黒木中の良き伝統と文化を」とバトンを渡  
しました。そして、卒業の歌「正解」を合唱し、美しいハーモ  
ニーを会場に響き渡らせました。式後の学活では一人一人の  
思いを聴き合いました。卒業おめでとうございます。



## 1,2年生クラスマッチ

3月14日に1年生がドッジボール、  
15日に2年生がバドミントンで汗を  
かきました。笑い声があふれ、1年間  
を締めくくる楽しい行事となりました。



## 碾(ひ)き臼(うす)体験!

3月18日に1年生は総合的な学習の時間  
「郷土にふれる～お茶の力を探ろう～」の学  
習の一環として茶の文化館で碾き臼体験を行いました。抹茶を臼で碾き、その抹茶を試  
飲しました。あらためて八女茶の風味の良さに感動しました。



### ☆ 保護者の皆さまへ ☆

1,2年生は今週末が修了式で、締めくくりとなります。ご家庭でこの1年を振り返り、お子  
様の成長を実感してください。そして、次の1年後の姿を思い浮かべて、決意を持って4月から  
気持ちよくスタートできるように準備をお願いします。そのためにも春休み、生活のリズムを崩  
さないように、また、計画的に過ごせるように声かけをお願いします。

今年の学校便りは本号を持って終了します。この3年間の学校便りのタイトルは黒木中学校  
の校訓「創造」「友愛」「自律」でした。1年間ご協力とご支援ありがとうございました。